

参考データ集

国際石油開発帝石株式会社

2018年(平成30年)11月8日

連結子会社および持分法適用関連会社 INPEX

連結子会社 63社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
JODCO Onshore Limited	アラブ首長国連邦	51%	生産中	12月
JODCO Lower Zakum Limited	アラブ首長国連邦	100%	生産中	12月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	生産中	3月(仮決算)
インベックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インベックス北カスピ海石油	カザフスタン	51%	生産中	3月(仮決算)
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	12月
INPEX Gas British Columbia Ltd.	カナダ	45.09%	生産中/評価中	12月

持分法適用関連会社 20社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
Angola Block 14 B.V.	アンゴラ	49.99%	生産中	12月
インベックス北カンボス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	62.245%	*	3月(仮決算)

*2018年10月23日付で公表の通り、LNGの出荷を開始しています

セグメント情報

2019年3月期第2四半期(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高	58,678	14,714	60,115	298,670	6,026	438,205	-	438,205
セグメント利益又は損失(△)	14,211	△ 312	19,437	204,652	△ 2,151	235,838	△ 9,403	226,434

- (注) 1 セグメント利益の調整額△9,403百万円は、セグメント間取引消去7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,410百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

LPG売上高

	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	25	4	△ 21	△ 83.6%
販売量(千bbl)	587	76	△ 511	△ 87.1%
海外生産分平均単価(\$/bbl)	38.99	50.40	11.41	29.3%
国内生産分平均単価(¥/kg)	63.84	74.76	10.92	17.1%
平均為替(¥/\$)	111.23	108.53	2円70銭円高	2.4%円高

地域別販売量(千bbl)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	増減率
日本	2 (0.2千ト)	2 (0.1千ト)	△ 0 (△0.0千ト)	△ 14.4%
アジア・オセアニア	585	74	△ 511	△ 87.3%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	587	76	△ 511	△ 87.1%

3

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	増減	備考
親会社株主に帰属する純利益	30,152	34,034	3,882	P/L
非支配株主に帰属する純損益	3,664	7,010	3,346	P/L
減価償却相当額	83,815	55,097	△ 28,718	
減価償却費	45,448	41,710	△ 3,738	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	-	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	34,987	10,007	△ 24,980	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	△ 1,845	2,697	4,542	
探鉱費	944	1,007	63	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金戻入益	△ 2,789	-	2,789	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
生産物回収勘定引当金繰入額	-	1,690	1,690	P/L PS契約に係る探鉱費相当額等
重要な非現金項目	1,573	855	△ 718	
法人税等調整額	5,133	5,210	77	P/L
為替差損益	△ 3,560	△ 4,355	△ 795	C/F
税引後ネット支払利息	△ 625	479	1,104	P/L 税引後の支払利息一受取利息
EBIDAX	116,734	100,172	△ 16,562	

4

生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	18年3月期第2四半期 (2017年4月-9月)	19年3月期第2四半期 (2018年4月-9月)	備考
生産物回収勘定(期首)	659,201	589,098	
増加:			
探鉱投資	1,638	1,613	主にイラク Block10
開発投資	10,104	11,590	主にACG
操業費	23,383	7,719	主にACG、カジャガン
その他	3,838	5,647	
減少:			
コスト回収(CAPEX)	34,987	10,007	主にACG
コスト回収(Non-CAPEX)	26,354	20,301	主にACG、カジャガン
その他	24,063	-	
生産物回収勘定(期末)	612,762	585,361	主にカジャガン
生産物回収勘定引当金	100,061	83,345	

5

原油価格・為替レートのセンシティブティ **INPEX**

※2018年5月10日時点

■ 油価・為替変動の2019年3月期 親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額 (注1)

油価1ドル上昇(下落)した場合(注2)(注4)	+16億円(△16億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合(注3)(注5)	+12億円(△12億円)

(注1) 原油価格(Brent)の期中平均価格が1ドル上昇(下落)した場合、為替が1円円安(円高)になった場合の、2019年3月期の当期純利益に対する影響額を試算したものです。当年度期初時点における既存の生産中プロジェクトの財務状況が主に影響しており、あくまでも参考値であること、また影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、加えて油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。

(注2) 油価変動が当期純利益に与える影響であり、原油価格(Brent)の期中平均価格の影響を受けます。

(注3) 為替変動が当期純利益に与える影響であり、期中平均為替レートの影響を受けます。尚、外貨建て資産と外貨建て負債の差から発生する為替評価損益に係るセンシティブティ(前期末と当期末の期末為替レートの差の影響を受ける)は、ほぼ中立化しております。

(注4) イクシスLNGプロジェクトの出荷開始後の油価センシティブティは、2倍程度となる見込みです。

(注5) イクシスLNGプロジェクトの出荷開始後の為替センシティブティは、20%程度増加する見込みです。

6

2019年3月期 販売量・投資額(予想) **INPEX**

2019年3月期予想		5月10日時点	11月7日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) ¹	98,604	102,481	3,877	46,462
	天然ガス (百万cf) ²	284,278	257,304	△26,974	69,026
	うち海外分	201,982	174,662	△27,320	32,971
	うち国内分	82,297 (2,205百万m ³)	82,643 (2,214百万m ³)	346 (9百万m ³)	36,055 (966百万m ³)
	LPG (千バレル) ³	141	170	29	76
開発投資額 ⁴ (億円)	3,260	3,280	20	1,830	
その他設備投資額 (億円)	30	20	△10	0	
探鉱投資額 (億円)	130	120	△10	20	
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 62 探鉱関連引当額 77 139	探鉱費 70 探鉱関連引当額 63 134	△5	探鉱費 10 探鉱関連引当額 16 26	
うち非支配株主持分負担額 ⁶ (億円)	22	20	△2	0	

注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用

2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用

3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5bblを使用

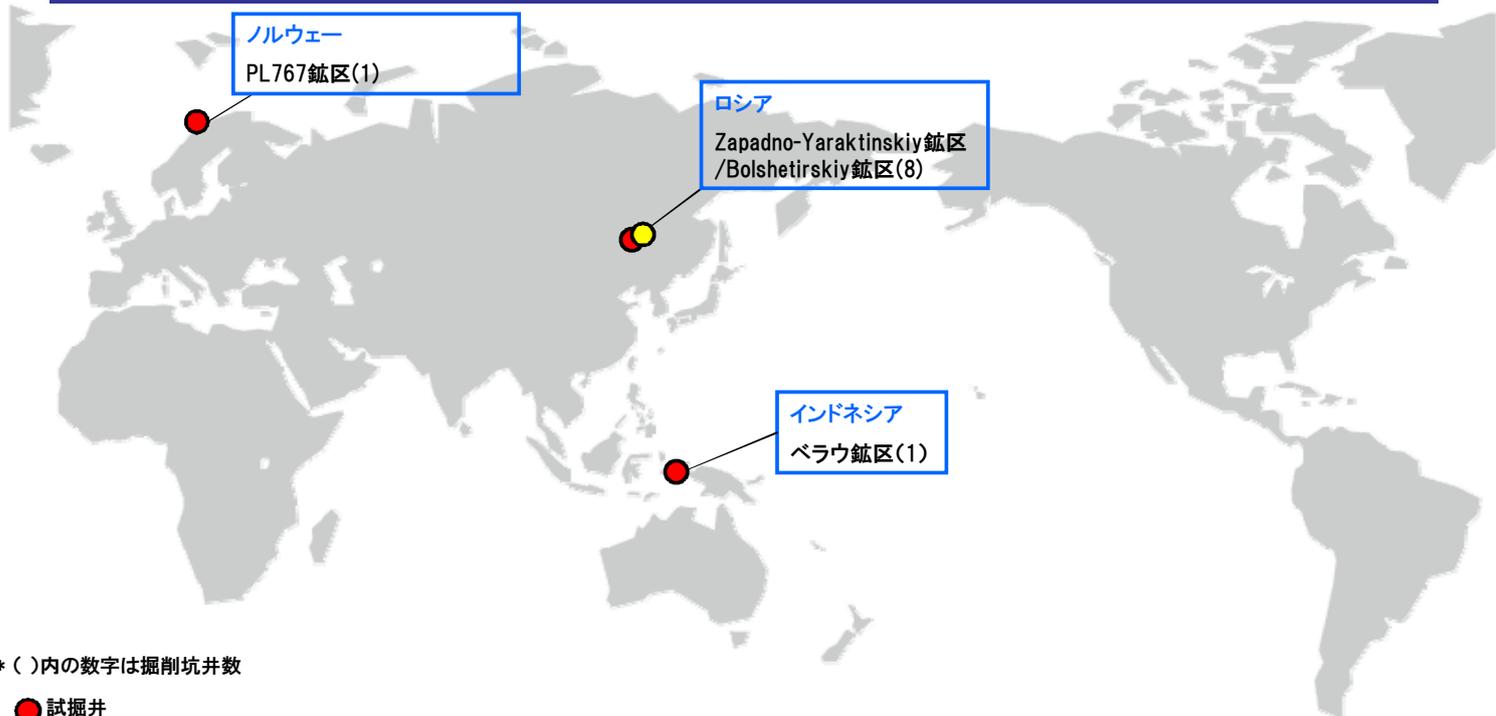
4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む

5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額のうち探鉱関連分

6 非支配株主による増資見合い分等

7

2019年3月期 探鉱計画*



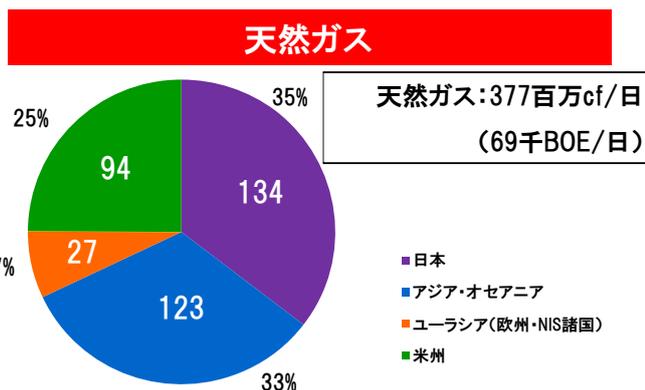
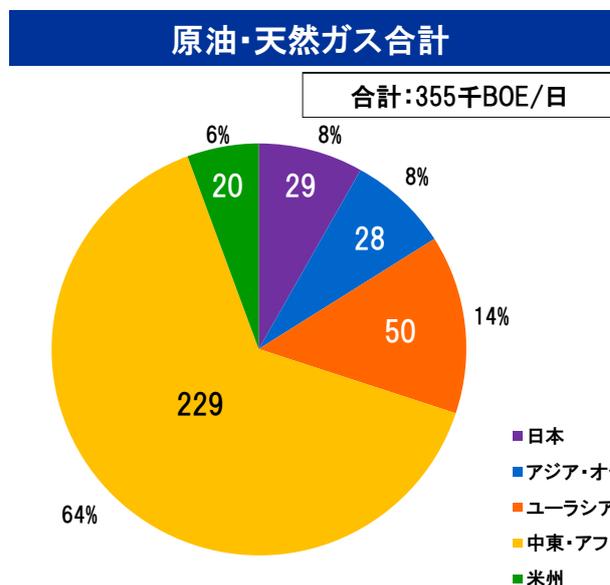
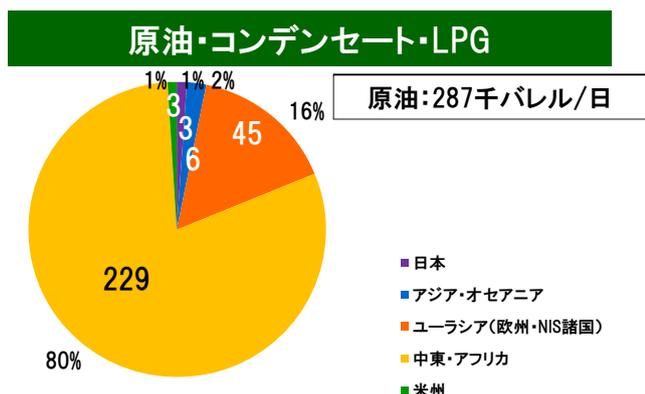
* ()内の数字は掘削坑井数

- 試掘井
- 探掘井

** 評価井については開示していません。
また、守秘義務等の関係上、具体的な探鉱計画
を開示していないプロジェクトもあります

	探鉱投資額 (億円)	試掘井 (坑)	探掘井 (坑)	2D震探 (km)	3D震探 (km ²)
2019年3月期(計画)	120	3	7	0	6,833
うち作業中・作業済	20	0	3	0	6,755

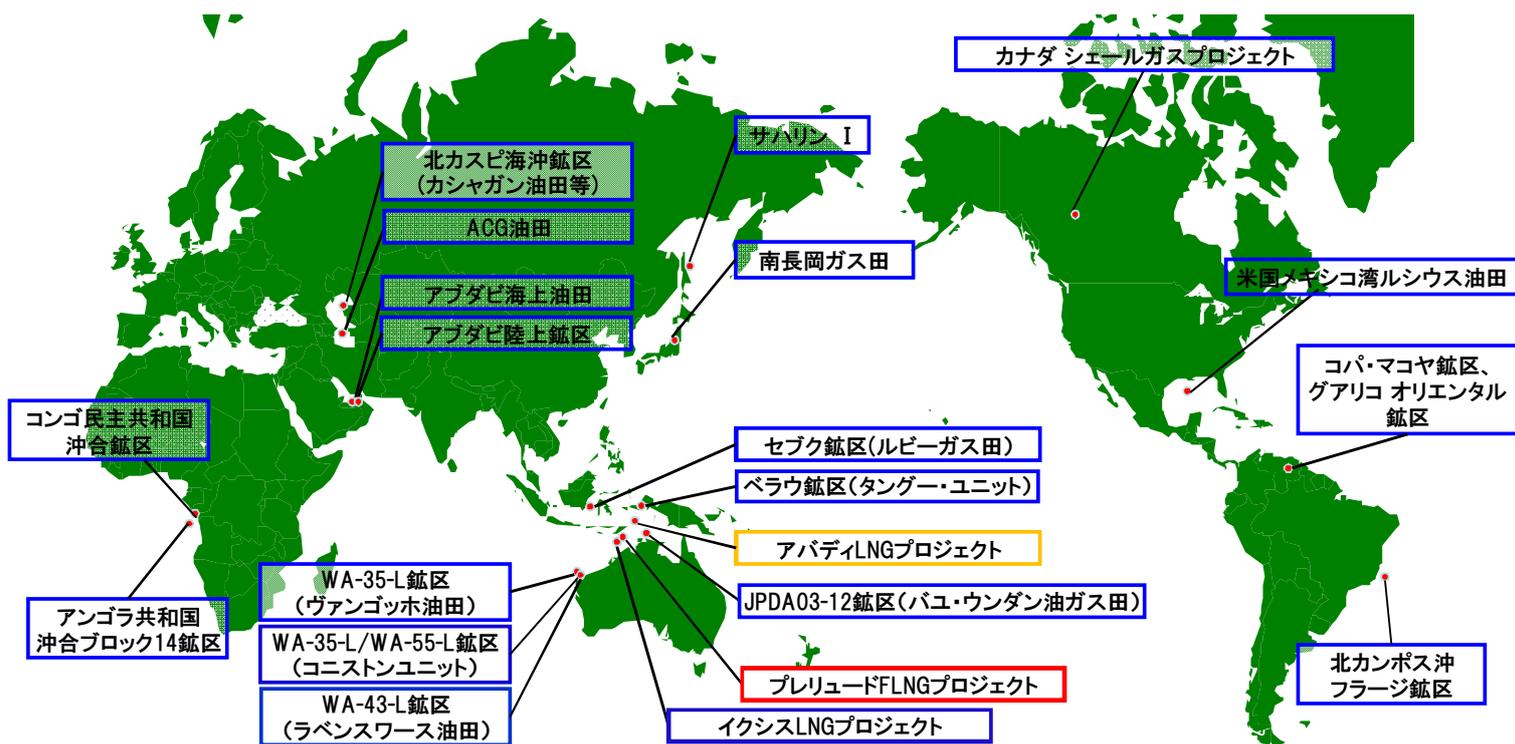
生産量*(2018年4月-2018年9月)



* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

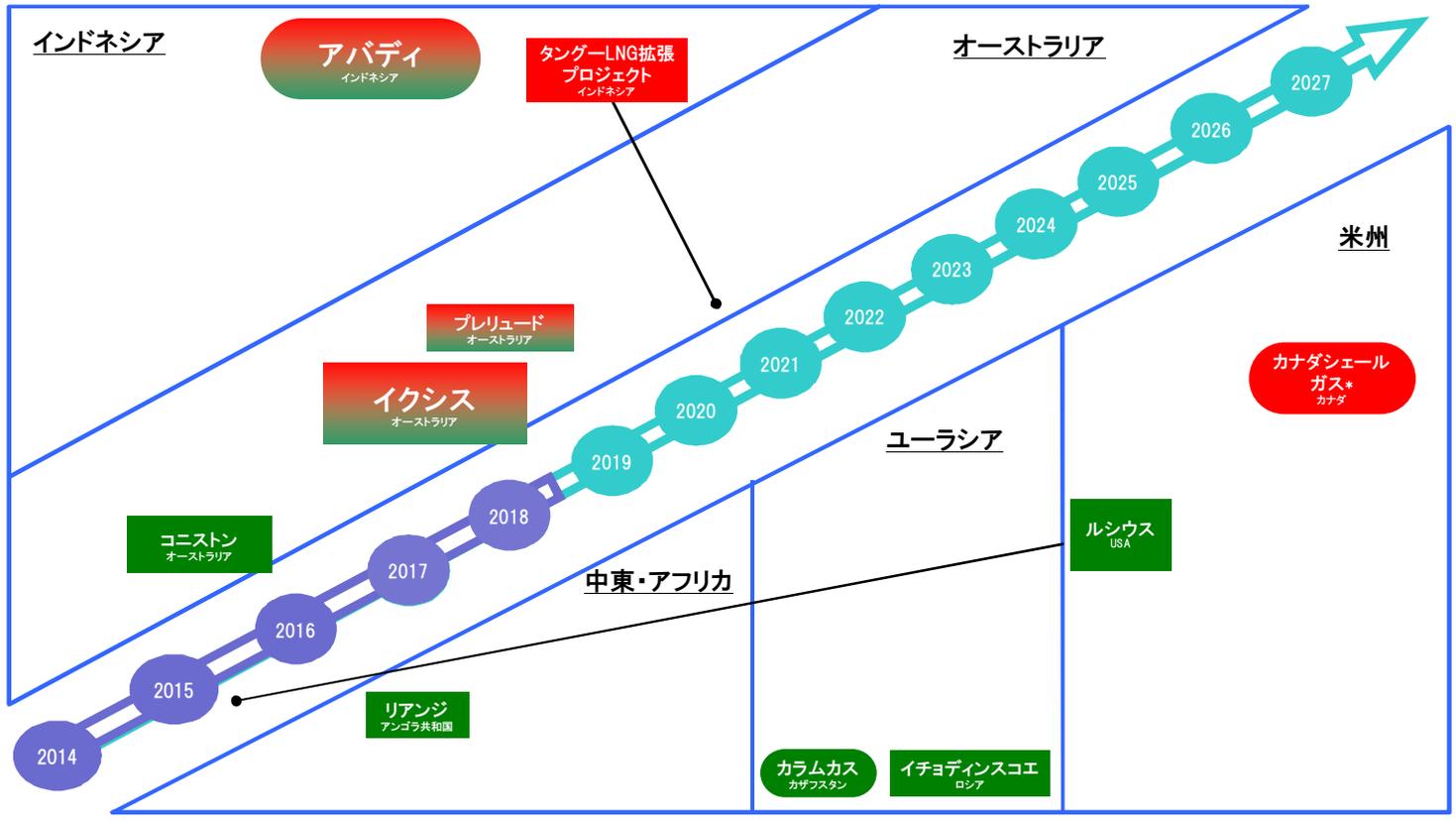
プロジェクト参考データ

主な生産・開発プロジェクト



生産中
開発中
開発準備作業中

生産開始スケジュール



生産開始済・開発が決定したプロジェクト

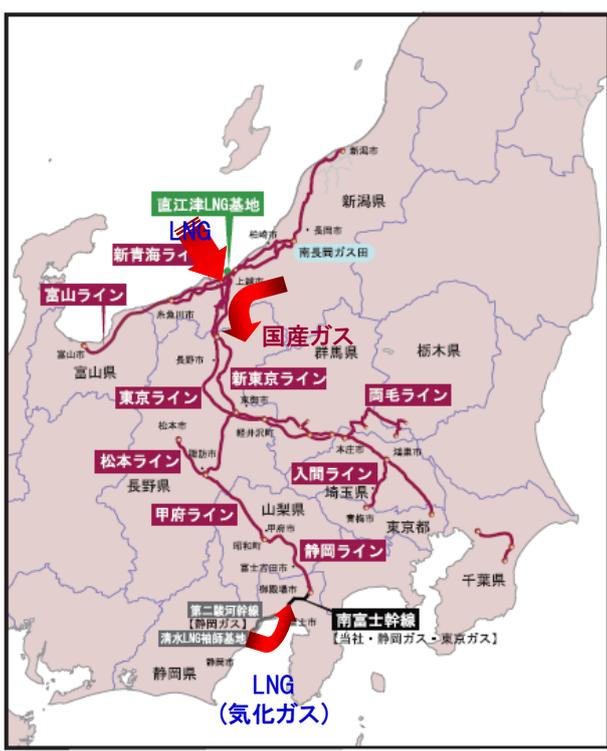
開発計画策定中のプロジェクト

天然ガス

原油/コンデンセート

12 * 一部生産中

国内天然ガス事業



- 生産量*
 - ・天然ガス: 約3.6百万m³/日 (134百万立方フィート/日)**
 - ・原油・コンデンセート: 約4千バレル/日
- 天然ガス販売状況
 - ・2018年3月期販売量: 21.2億m³ **
 - ・2019年3月期上半期販売量: 9.7億m³ **
 - ・2019年3月期販売量見通し: 22.1億m³**
 - ・2020年代前半に25億m³、長期的に年間30億m³の供給見通し
- グローバルガスバリューチェーンの構築
 - ・2013年12月、直江津LNG基地の商業運転開始
 - ・2016年6月、富山ライン完成
 - ・2018年10月、直江津LNG基地にイクシスLNGプロジェクトの第1船が入船

* 国内油田・ガス田の合計(2018年4月~9月平均日産量)
 ** 1m³当たり41.8605MJ換算

セブク鉱区(ルビーガス田) インペックス南マカッサル石油

INPEX



- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: PEARLOIL (Mubadala))
- 生産量*
天然ガス**: 日量約86百万立方フィート
- PS契約: 2027年まで
- 2010年9月、オペレーターであるPEARLOILと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得
- 2011年6月、開発移行決定
- 海上生産施設よりマハカム鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込み
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給
- 2013年10月、生産開始

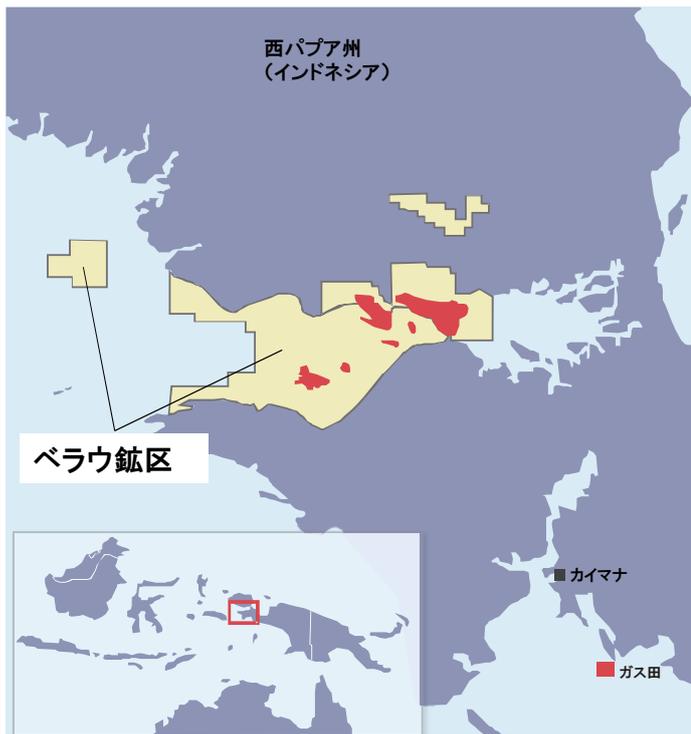
* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

14

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



- MI Berau/MIベラウジャパン*:
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:(当社ネット 7.79%)
・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%
・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット 8.56%
(オペレーター: BP)
- 生産量*
・コンデンセート: 日量約6千バレル
・天然ガス**: 日量約1,122百万立方フィート
- PS契約: 2035年まで
- LNG生産量: 年間760万トン
- 2009年7月、LNG販売開始
- 2016年7月、拡張プロジェクト(年間380万トンの生産能力を有する第三液化系列を増設)の最終投資決定

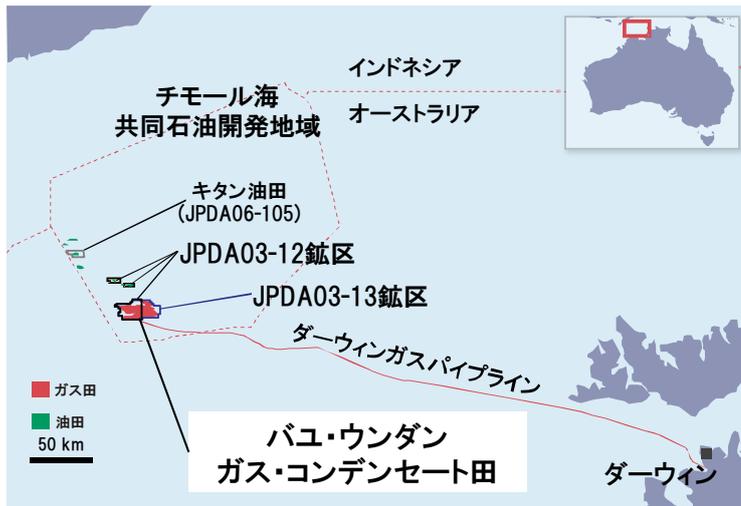
* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

15

バユ・ウندان ガス・コンデンセート田(JPDA03-12/03-13鉱区) サウル石油

INPEX



- 当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*
 - ・ コンデンセート: 日量約1.0万バレル
 - ・ LPG: 日量約0.7万バレル
 - ・ 天然ガス**: 日量約554百万立方フィート
- PS契約: 2022年まで
- 2004年2月、コンデンセート/LPG販売開始
- 2005年8月、東京電力(現JERA)/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)
- 2006年2月、LNG販売開始
- 2018年3月、東チモール・豪州両政府は、チモール海の領海線に関する新条約に調印。現在、両国で条約批准手続き中。並行して、既存PSCの改定(原則同条件)について両政府とコントラクター間で協議中。

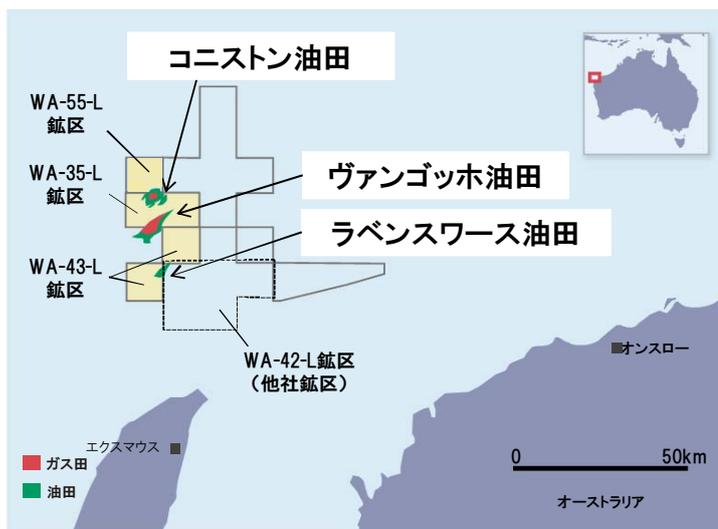
* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

16

ヴァンゴッホ油田/コニストン油田及びラベンスワース油田 アルファ石油

INPEX



ヴァンゴッホ油田(WA-35-L)/コニストン油田 (WA-35-LおよびWA-55-L鉱区)

- 当社権益比率: 47.499%
(オペレーター: Quadrant Energy)
- 利権契約: 生産終了まで
- 生産量*: 原油: 日量約6千バレル
- 2010年2月、ヴァンゴッホ油田にて原油生産開始
- 2015年5月、コニストン油田にて原油生産開始
- 2016年7月、コニストン油田ノバラ構造にて原油生産開始

ラベンスワース油田(WA-43-L鉱区)

- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 生産量*: 原油: 日量約7千バレル
- 利権契約: 生産終了まで
- 隣接するWA-42-L鉱区の実施施設への繋ぎ込みによる開発
- 2010年8月、生産開始

* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

17

イクシスLNGプロジェクト 概要

- マーケティング:

- ✓ LNG: 年産840万トン分売買契約締結済
- ✓ LPG: 当社権益全量等の売買契約締結済

- 主要許認可:

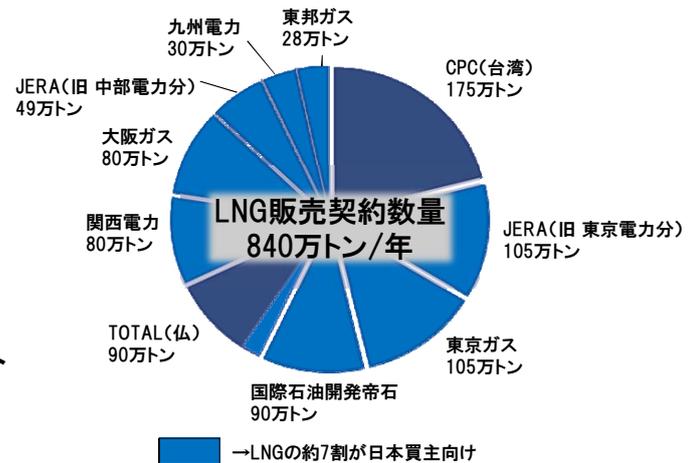
- ✓ 環境、ガス輸送パイプラインのライセンス、生産ライセンス等全て取得済

- ファイナンス:

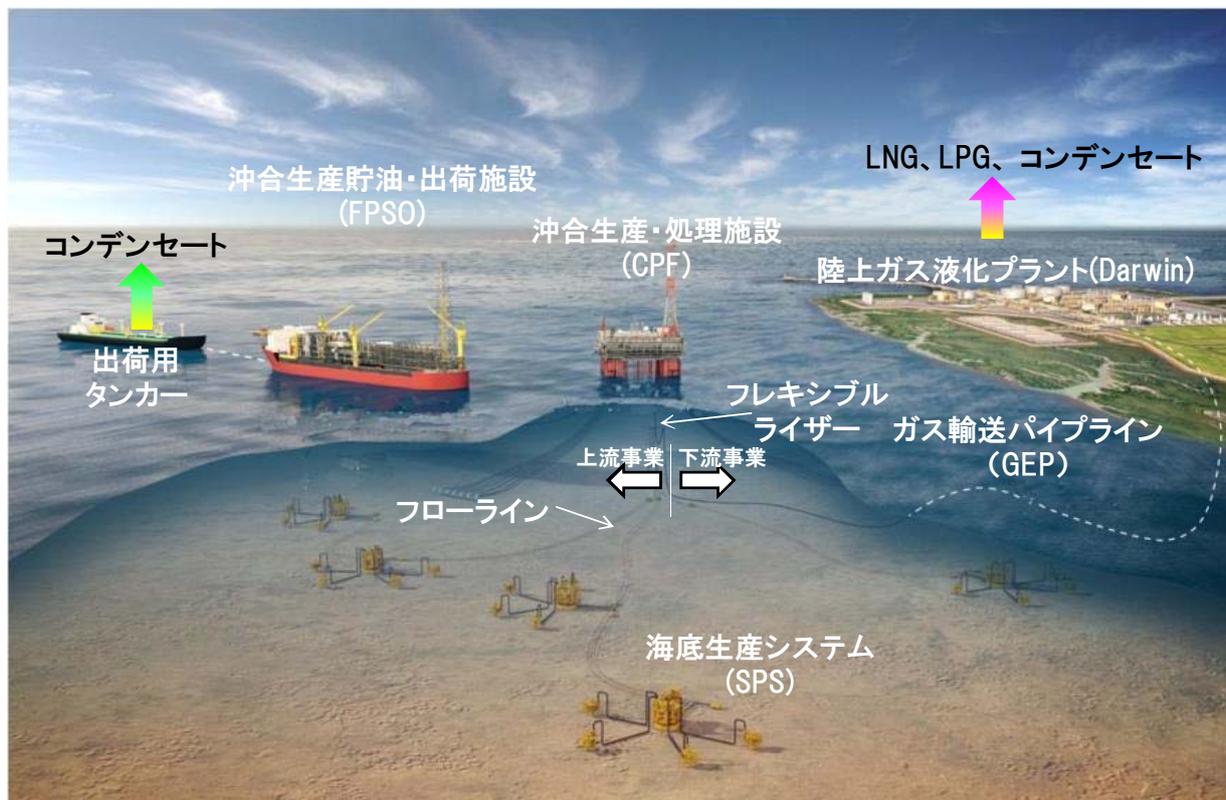
- ✓ 2012年12月、総額200億米ドルのプロジェクトファイナンスに係る融資関連契約に調印

- 開発作業: 主要EPC契約締結済

- 上流事業** 沖合生産・処理施設(CPF) : Samsung Heavy Industries(韓)
 沖合生産貯油・出荷施設(FPSO): Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering (韓)
 海底生産システム(SPS): GE Oil & Gas(米)
 フローライン、フレキシブルライザーなどの接続作業等: McDermott(米)
- 下流事業** 陸上LNGプラント: 日揮、千代田化工、KBR社(米)の企業連合
 ガス輸送パイプライン(GEP): Saipem(伊)・三井物産・住友商事・メタルワン
 ダーウィン湾内浚渫作業: Van Oord(蘭)
 計装・制御システム: 横河電機(上流施設も含む)



イクシスLNGプロジェクト 開発コンセプト



イクシスLNGプロジェクト FID以降の軌跡

■ 最終投資決定(FID)以降の軌跡

主なマイルストーン	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
FID	●						
(沖合施設・生産井関連)							
・ CPF/FPSOの起工式		●					
・ CPF/FPSOの本格的な組み立て作業開始			●				
・ FPSOの進水			●				
・ ガス輸送パイプラインの敷設完了				●			
・ 生産井の掘削開始				●			
・ 海底フローラインの敷設完了					●		
・ CPF/FPSOの出航・イクシスフィールド到着・係留・接続完了						●	
・ CPF/FPSO等の試運転開始						●	
・ CPF/FPSO/海底生産システムの生産開始に必要な試運転完了							●
(陸上施設関連)							
・ 陸上ガス液化プラントの起工式	●						
・ 陸上ガス液化プラントのモジュール、棧橋、タンク等の建造開始		●					
・ ダーウィン湾内の浚渫作業完了			●				
・ 製品出荷棧橋の完成					●		
・ 全モジュールの完成・搬入完了					●		
・ 全製品タンクの水張試験完了						●	
・ 発電施設稼働開始						●	
・ 陸上ガス液化プラント第1トレインの生産開始に必要な試運転完了							●
(プロジェクト全般)							
・ 生産ライセンスの取得、プロジェクト・ファイナンス契約調印	●						
・ 建造施設への損害保険手配の完了		●					
・ LNG輸送に係るLNG船の新規造船・保有及び定期傭船契約の締結		●					
・ プロジェクト進捗50%の達成			●				
・ LNG生産能力の増大(年産約840万トン⇒約890万トン)				●			
・ アストモスエネルギー㈱とのLPG販売に関する基本合意						●	
・ 直江津LNG基地向けLNG船・台湾CPC向けLNG船の命名式						●	
生産井からのガス生産開始							●
コンデンサート出荷開始、LNG出荷開始							●

イクシスLNGプロジェクト 沖合生産・処理施設(CPF)



イクシスLNGプロジェクト 沖合生産・貯油出荷施設(FPSO)

INPEX



22

イクシスLNGプロジェクト 陸上ガス液化プラント

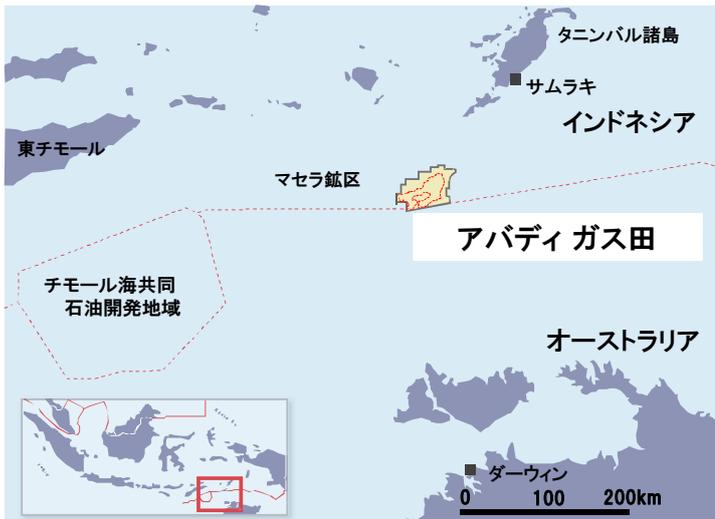
INPEX



23

アバディLNGプロジェクト

INPEX



- 権益比率: 当社(オペレーター)65%、Shell35%
- 開発準備中

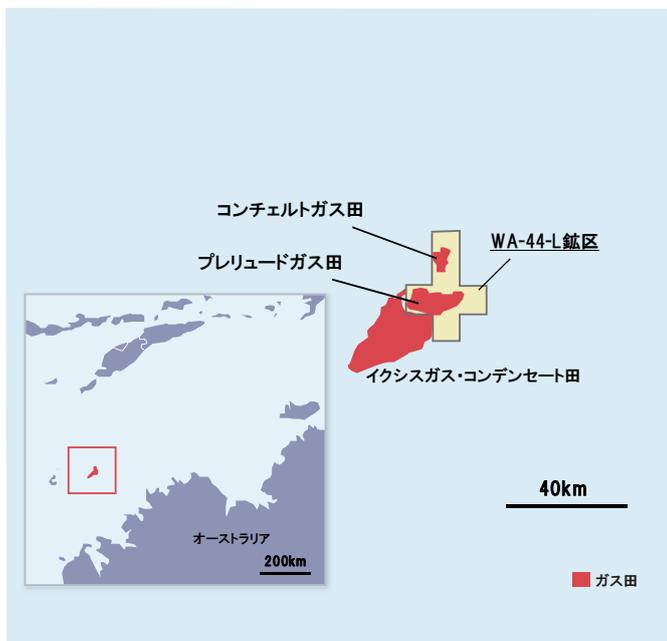
- 2016年4月、インドネシア政府当局より陸上LNGによる開発計画の再検討を求める内容の通知を受領
- インドネシア政府との建設的な協議結果を踏まえ、2018年3月から10月に年産950万トン規模を想定する陸上LNGのPre-FEED(概念設計)作業を実施
- 2017年6月にインドネシア政府からNational Strategic Projectに、同年9月にはPriority Infrastructure Projectに認定
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をインドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲渡する予定
- PS契約: 2028年まで

24

プレリウドFLNGプロジェクト

INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd

INPEX



- 権益比率: 17.5%(オペレーター: Shell)
- 埋蔵量: 天然ガス約3兆cf (プレリウドガス田およびコンチェルトガス田)
- 生産量:
 - ・LNG 年間360万トン
 - ・LPG 年間約40万トン(ピーク時)
 - ・コンデンセート 日量約3.6万バレル(ピーク時)
- 2011年5月に最終投資決定
- 2017年6月、FLNG船が建設ヤードの韓国ゴジェから出航し、7月に現場海域へ到着
- 2018年6月、試運転用のLNGカーゴの受入れを完了。
- 現在、試運転を実施中
- 当社権益相当分年間約63万トンのLNGの売買について、JERA(年間約56万トン)、静岡ガス(年間約7万トン)それぞれと合意

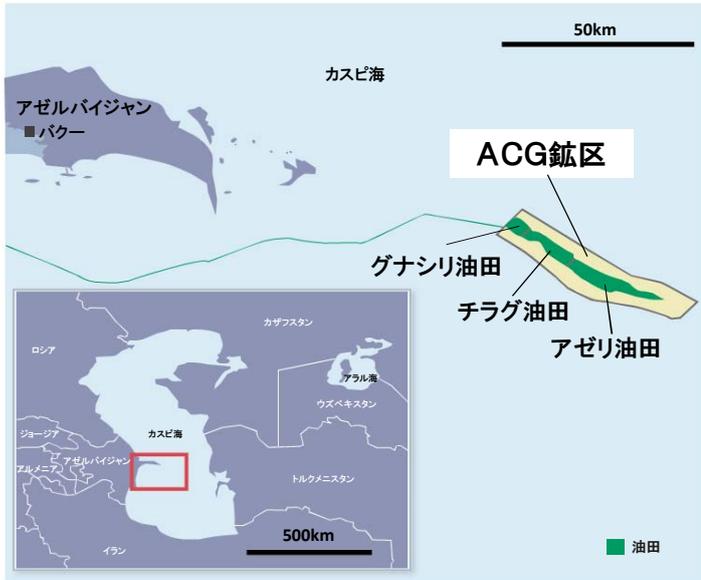


25

FLNG船

ACG油田 インペックス南西カスピ海石油

INPEX

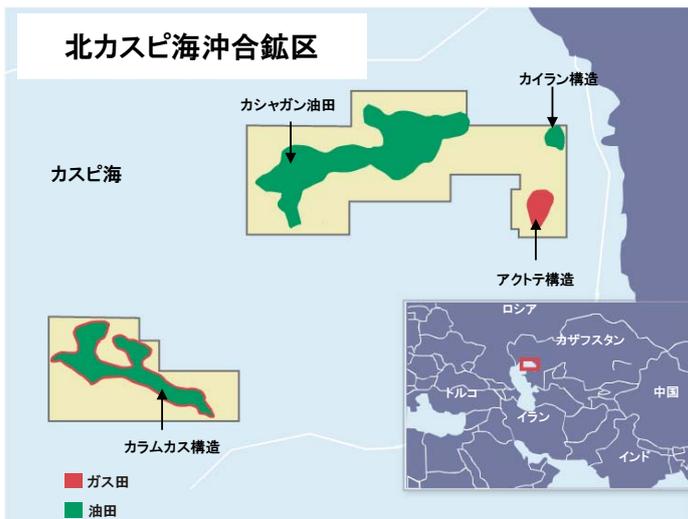


- 当社権益比率：9.3072%*
(オペレーター:BP)
- 生産量：平均日量59.6万バレル**
- PS契約：2049年まで***
- チラグ油田：1997年生産開始
- アゼリ油田中央部：2005年2月生産開始
- アゼリ油田西部：2005年12月生産開始
- アゼリ油田東部：2006年10月生産開始
- グナシリ油田深海部：2008年4月生産開始
- チラグ油田西部：2014年1月生産開始

* PS契約延長に伴い、当社権益比率は9.3072%へ変更。
延長PS契約は2018年1月1日発効。
** 全鉱区ベース、2018年上半期平均日産量。
*** 2017年に、PS契約の2049年末までの延長が合意された。

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



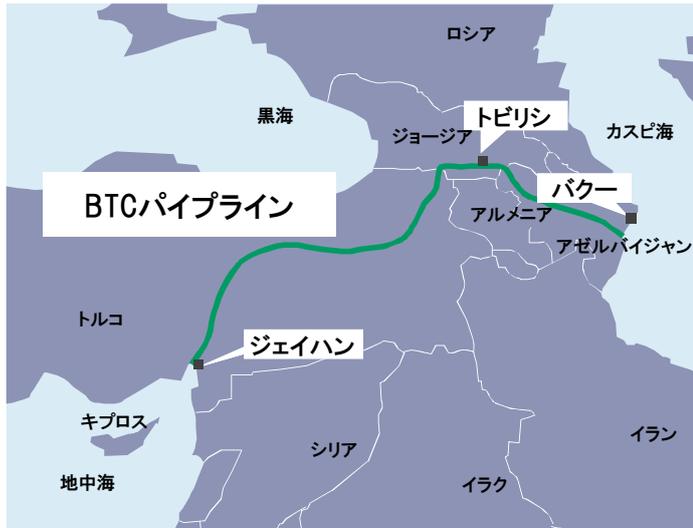
- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: カシャガン油田 - 2021年末まで*
- 原油生産量**: 日量約29.7万バレル。
- 早期に生産日量37万バレルまでの引き上げを目指している。
- 2016年10月より原油出荷を開始
- カラムカス構造は隣接鉱区との共同開発の可能性について協議・検討中
- アクトテ/カイルンの2構造の評価期間を5年間延長して開発シナリオ検討を継続することについて、カザフスタン政府と合意。

*現行のPSA条件にて10年×2回の延長(2041年まで)が可能
**全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト

INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX



- 当社権益比率：2.5%(オペレーター:BP)
- 通油量：日量約69万バレル*
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成
- 2014年8月11日、累計20億バレル出荷を達成

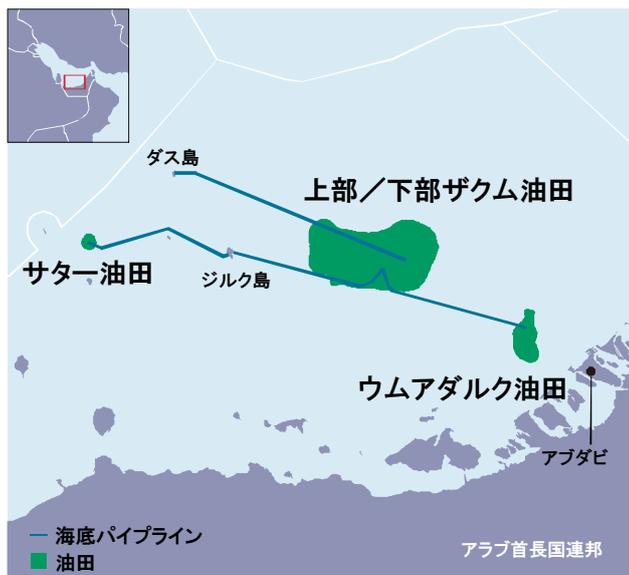
* 2018年上半期平均通油量

28

アブダビ海上油田

ジャパン石油開発(JODCO) / JODCO Lower Zakum Limited

INPEX



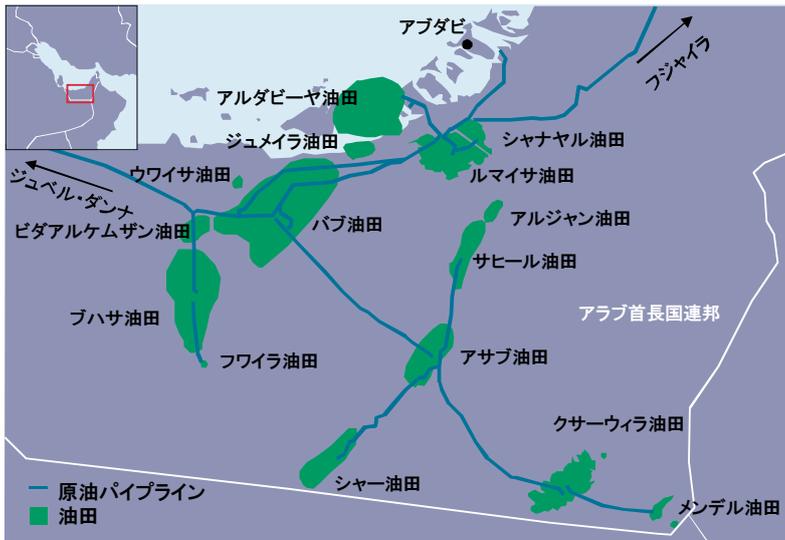
- 上部ザクム油田(JODCO)
 - 当社権益比率:12%(オペレーター:ADNOC Offshore)
 - 利権契約:2051年まで
- 下部ザクム油田(JODCO Lower Zakum Limited)
 - 当社権益比率:10%(オペレーター:ADNOC Offshore)
 - 利権契約:2058年まで
- サター油田・ウムアダルク油田(JODCO)
 - 当社権益比率:40%(オペレーター:ADNOC Offshore)
 - 利権契約:2043年まで

29

アブダビ陸上鉱区

JODCO Onshore Limited

INPEX



- 当社権益比率:5%
(オペレーター:ADNOC Onshore*)

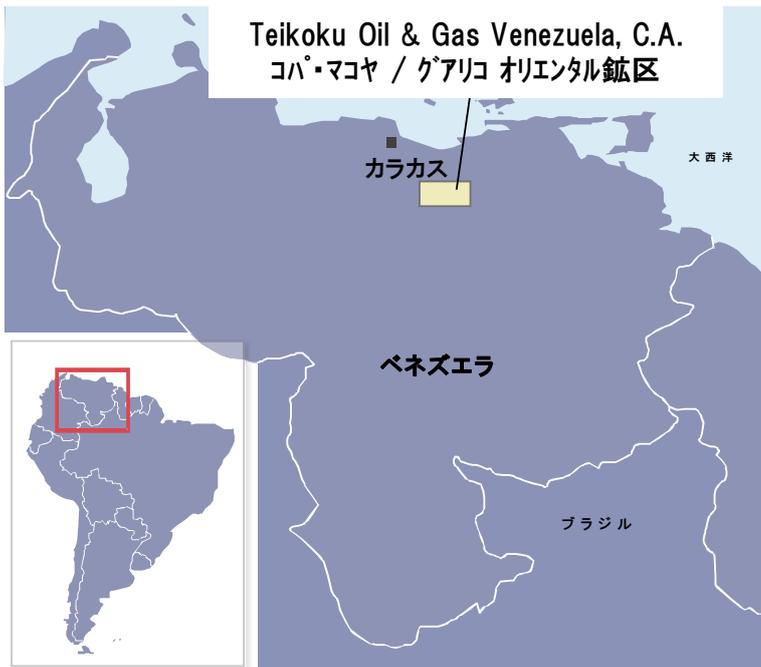
- 利権契約:2054年まで

*権益保有者が株主である操業会社。JODCO Onshore Limitedから5%を出資。

ベネズエラ プロジェクト

Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

INPEX



- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル鉱区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ガス事業:70%、原油事業:30%
- ジョイントベンチャー契約
 - ・2006-2026年
- 生産量*
 - ・原油: 日量約0.6千バレル
 - ・天然ガス**: 日量約71百万立方フィート

* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

**井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

ブラジル プロジェクト フラージ鉱区ほか

INPEX



フラージ鉱区(Frade Japã o Petr ó leo Limitada (FJPL))

- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)

*当社持分法適用関連会社インペックス北カンポス沖石油(株)の子会社(当社はインペックス北カンポス沖石油(株)の37.5%の株式を保有)

- 生産量**:

- 原油: 日量約1.8万バレル
- 天然ガス***: 日量約1百万立方フィート

- コンセッション契約: 2025年まで(2041年までの延長可能)

BM-ES-23鉱区

- 当社権益比率: 15%(オペレーター: Petrobras)

- コンセッション契約: 2020年まで

- 探鉱(評価)作業中

** 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

32

カナダ シェールガスプロジェクト

INPEX Gas British Columbia Ltd.

INPEX



- 権益比率: 40%* (オペレーター: Nexen)

* INPEX Gas British Columbia Ltd. (出資比率: 当社45.09%、JOGMEC44.89%、日揮(株)のカナダ法人子会社 10.02%)の権益比率。

- 生産量**

- 天然ガス***: 日量約58百万立方フィート

- コンセッション契約



** 全鉱区ベース、2018年上半期平均日産量

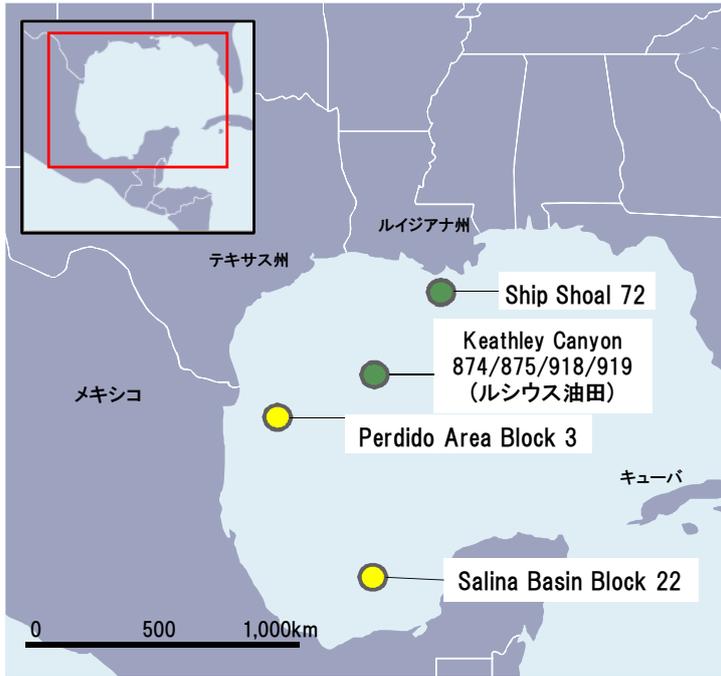
*** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

33

フラクチャリング作業現場

メキシコ湾周辺 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V. **INPEX**



ルシウス油田
(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- リース契約
- 当社権益比率:7.75309% (オペレーター: Anadarko)
- 2015年1月 原油及び天然ガスの生産開始
- 2017年9月に、ルシウス油田とルシウス油田の南側に位置するハドリアンノース(HN)油田のプロジェクトパートナーはユニタイゼーションに係る改定UPA (Unit Participating Agreement)を締結
- 2019年HN油田より生産開始予定
- 生産量*
 - 原油: 日量約2.0万バレル
 - 天然ガス**: 日量約15百万立方フィート

浅海海域鉱区
(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- リース契約
- 当社権益比率 Ship Shoal 72 : 25%

メキシコ領メキシコ湾北部海域 Block3鉱区
(INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V.)

- ライセンス契約
- 当社権益比率: 33.3333% (オペレーター:Chevron)
- 2017年2月28日にライセンス契約を調印、現在探鉱作業中

メキシコ領メキシコ湾南部海域 Block22鉱区
(INPEX E&P Mexico, S.A. de C.V.)

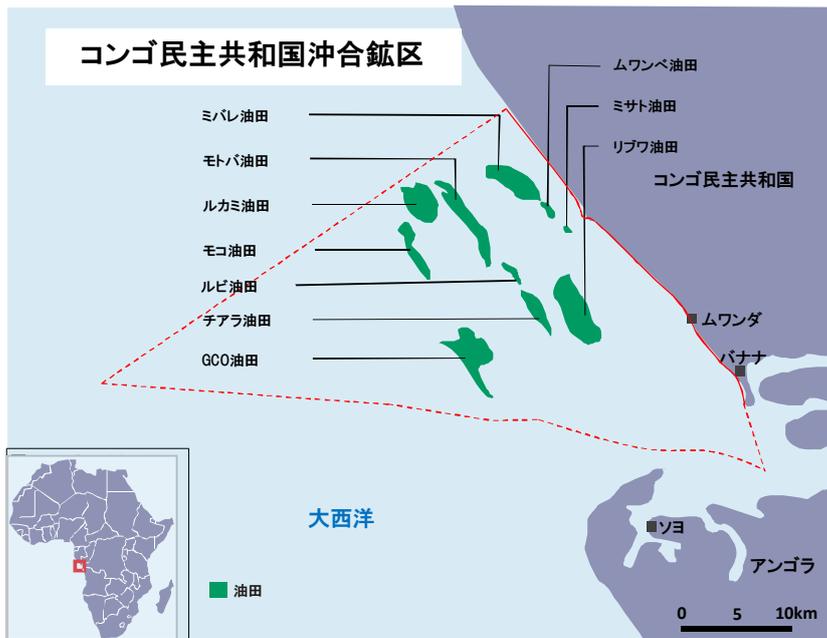
- ライセンス契約
- 当社権益比率: 35% (オペレーター:Chevron)
- 2018年1月31日、Chevron、Pemexと共同落札
- 2018年5月7日にライセンス契約を調印、現在探鉱作業中

*全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

** 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量
34

コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

INPEX

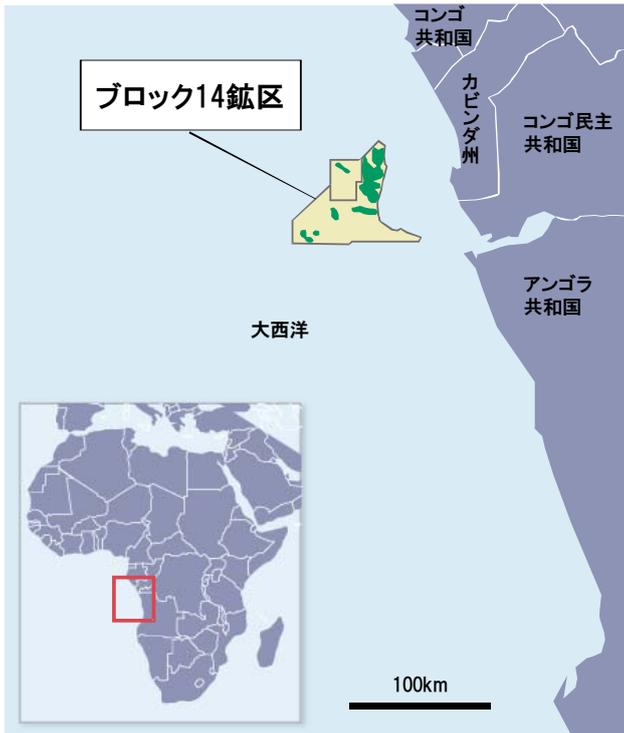


- 当社権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2043年)
- 生産開始:1975年
- 生産量*:日量約1.5万バレル

* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区 INPEX Angola Block14 Ltd.

INPEX



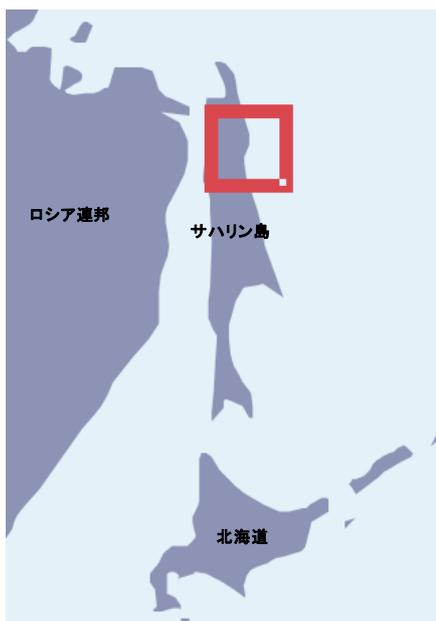
- 当社権益比率:9.998%(オペレーター: Chevron)
- 生産量*: 日量約6.5万バレル
- PS契約:
 - Kuito DA: 2023年まで
 - BBLT DA: 2027年まで
 - TL DA: 2028年まで
 - Lianzi: 2031年まで

* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

36

サハリン-1 サハリン石油ガス開発

INPEX



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式約6.08%
- SODECOのサハリン-1における権益比率: 30.0%
- オペレーター: Exxon Neftegas Limited
- 2005年10月、チャイウォより生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプトより生産開始
- 2015年1月、アルクトン・ダギより生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中

37

東シベリアINKプロジェクト

日本南サハ石油

INPEX



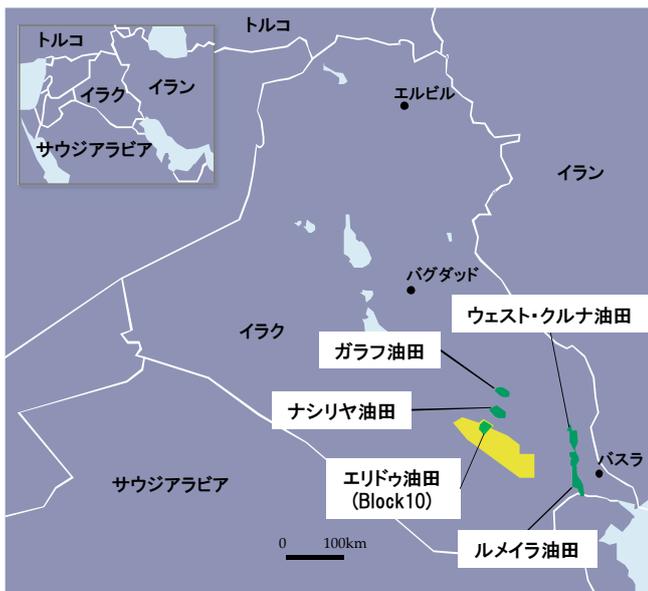
- 日本南サハ石油(JASSOC):当社保有株式約25.16%
- JASSOCの東シベリアINKプロジェクト(INK ZAPAD社への出資)における株式保有: 49.0%
- 生産量*:原油日量約4.8万バレル
- オペレーター: INK ZAPAD社
- ライセンス契約: 25年間(2031年まで)
- 2014年11月、イチョディンスコエ油田より生産開始

* 全鉱区ベース、2018年9月平均日産量

イラク エリドウ油田(Block10)

インペックス南イラク石油

INPEX



イラクBlock10ロケーション

- 当社権益比率:40%
(オペレーター:ルクオイル)
- 鉱区取得:2012年12月
(イラク共和国第4次公開入札)
- EDPSC*: 探鉱期間 - 9年間**
(2021年12月2日まで)
開発生産期間 - 20年間***
- 2017年2月、試掘第1号井において油層を発見。その後、評価井2坑を掘削し、それぞれで油層の広がりを確認した。
- 油層が鉱区外へ伸長していると予測されたため、鉱区エリアの拡張申請を提出し、2017年11月に承認された。
- 商業開発の可能性を検討するため、探鉱および評価作業を実施中。

* 探鉱、開発、生産サービス契約

** 更なる探鉱・評価作業を実施するため、EDPSCに基づき、探鉱期間を4年間延長。

***開発・生産期間は5年間の延長が可能。

ノルウェー領大陸棚プロジェクト INPEX Norge AS

INPEX

バレンツ海西部PL767鉱区



- 当社権益比率:40%
(オペレーター:Lundin Norway AS)
- 鉱区取得:2017年1月1日
- コンセッション契約:探鉱・評価期間8年間
(2023年まで1年延長済み)
- 開発生産期間25年間
- 2017年11月:Bayerngas Norge AS社から取得
- 2019年初旬を目処に試掘井1坑の掘削を行う予定

バレンツ海西部PL950鉱区

- 当社権益比率:30%
(オペレーター:Lundin Norway AS)
- 鉱区取得:2018年3月2日
- コンセッション契約:探鉱・評価期間7年間
開発生産期間25年間
- 2017年8月:2017APAラウンドにおいてLundin Norway AS社と共に共同入札し、2018年1月に落札

40

主要会社一覧及び石油契約①*

INPEX

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	生産中
アジア/オセアニア					
・インベックス南マカッサル石油	セブク鉱区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	生産中
・MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	生産中
・インベックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディLNG)**	インドネシア	PS	51.9%	開発準備作業中
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・INPEX Browse E&P Pty Ltd	WA-285-P***ほか	オーストラリア	コンセッション	100%	探鉱作業中
・INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-50-L及びWA-51-L(イクシス)**	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中
・Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	62.245%	***
・INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	プレリユードFLNGプロジェクト	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・アルファ石油	ヴァンゴッホ油田/コニストンユニット	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中

注: * 2018年9月末時点

** オペレータープロジェクト

*** 2018年10月23日付で公表の通り、LNGの出荷を開始しています

41

主要会社一覧及び石油契約②*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インベックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
・インベックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	51%	生産中
中東					
・ジャパン石油開発	上部ザクム油田等	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・JODCO Lower Zakum Limited	下部ザクム油田	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
・JODCO Onshore Limited	ADCO鉱区	アラブ首長国連邦	コンセッション	51%	生産中
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
・INPEX Angola Block14	アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区	アンゴラ共和国	PS	100%	生産中
米州					
・INPEX Gas British Columbia	カナダ シェールガスプロジェクト	カナダ	コンセッション	45.09%	生産中/評価中
・Teikoku Oil & Gas Venezuela	コパ・マコヤ**/グアリョオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
・Teikoku Oil (North America)	ルシウス油田/SS72鉱区	米国	コンセッション	100%	生産中
・Frade Japão Petróleo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%***	生産中

注：* 2018年9月末時点

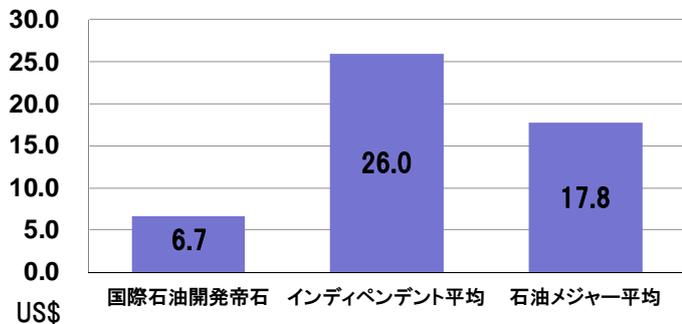
** オペレータープロジェクト

*** インベックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。

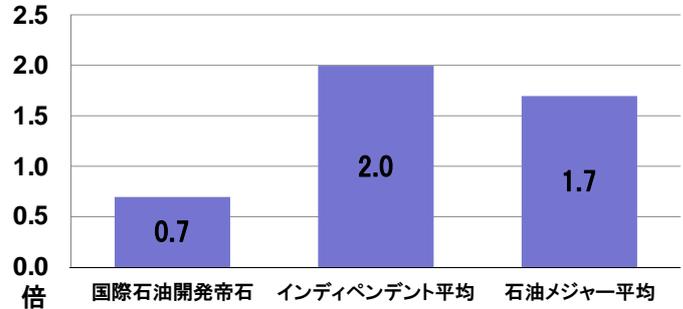


その他

EV／確認埋蔵量*



PBR**



* EV(企業総価値)／確認埋蔵量 = (時価総額 + 総有利子負債 - 預金及び現金同等物 + 非支配株主持分)／確認埋蔵量。時価総額は2018年9月末時点、財務数値及び確認埋蔵量は、当社は2018年9月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2018年6月末時点数値を使用。財務数値、確認埋蔵量は各社開示資料より。

** PBR = 株価 / 一株当たり純資産。時価総額は2018年9月末時点、財務数値は当社は2018年9月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2018年6月末時点数値を使用。財務数値は各社開示資料より。

※2018年5月11日発表

ビジョン2040 エネルギーの未来に応える
Delivering tomorrow's energy solutions

ビジョン2040

3つの事業目標



①石油・天然ガス
上流事業の持続的成長

国際大手石油会社
トップ10へ

- ✓ 量的(Volume)、質的(Value)な成長
- ✓ Volume: 生産量日量100万バレルを展望、埋蔵量を持続的に拡大
- ✓ Value: 純利益・営業CFを大幅に拡大、資本の効率性を向上



②グローバルガス
バリューチェーンの構築

アジア・オセアニアにおける
ガス開発・供給の
主要プレイヤーへ

- ✓ アジア等の成長市場における需要開拓
- ✓ 国内ガス供給量30億m³超に拡大
- ✓ 上流ガス権益の価値最大化
- ✓ 需給調整・トレーディング機能の維持・強化



③再生可能エネルギーの
取り組みの強化

ポートフォリオの
1割へ

- ✓ 気候変動への積極的対応
- ✓ シナジーのある地熱開発に加え、風力発電事業等への参入拡大
- ✓ 温室効果ガス削減に関する技術研究・開発の継続

基盤整備 CSR経営の実践、特に気候変動対応の推進+INPEXの強みを活用

事業活動の低炭素化、ESGの取り組み強化、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に貢献
プロジェクトが生み出すキャッシュを株主還元・成長投資に配分

持続的な企業価値の向上



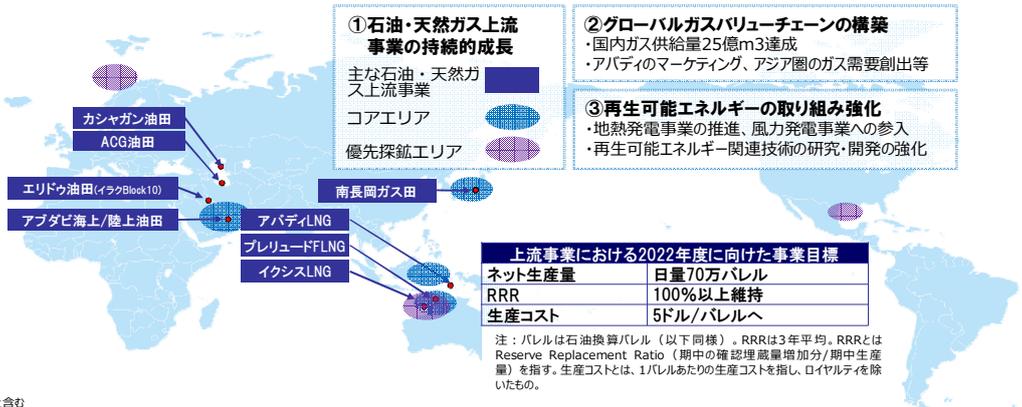
5年間の資金配分*



注：*原油価格60ドル、為替110円前提。イクス下流会社含む
**1事業の主な取り組み①の①～③に係る全ての支出



事業の主な取り組み



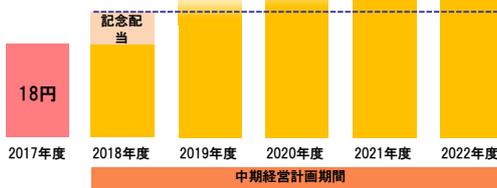
指標	目標
ネット生産量	日量70万バレル
RRR	100%以上維持
生産コスト	5ドル/バレルへ

注：バレルは石油換算バレル（以下同様）。RRRは3年平均。RRRとは Reserve Replacement Ratio（期中の確認埋蔵量増加分/期中生産量）を指す。生産コストは、1バレルあたりの生産コストを指し、ロイヤルティを除いたもの。



株主還元の強化

- ✓ 2018年度：イクスLNGプロジェクトの生産及び出荷後、記念配当実施の方針
- ✓ 中計期間中、以下の還元方針
 - 1株18円 + 上記記念配当の合計額を下回らないよう安定的に配当
 - 業績の成長に応じて段階的に一株当たり配当金を引き上げ
 - 配当性向30%以上



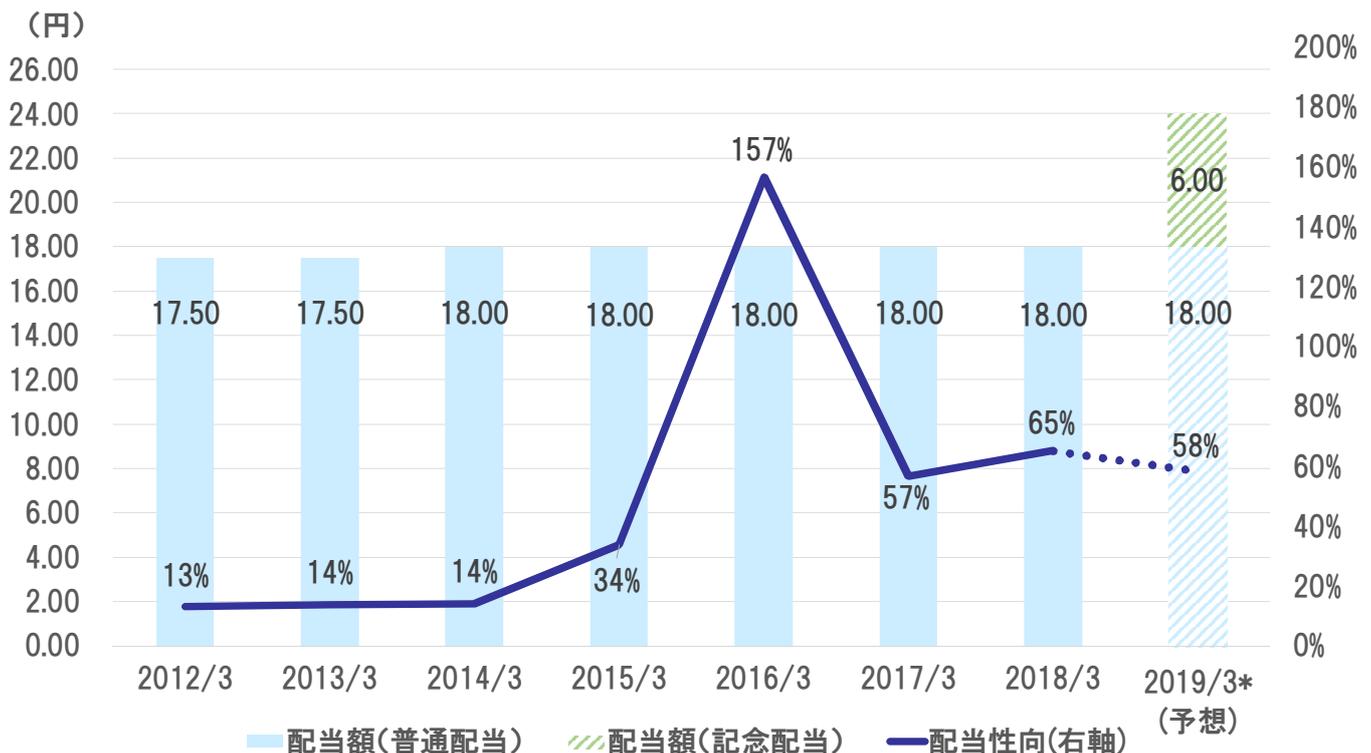
経営目標

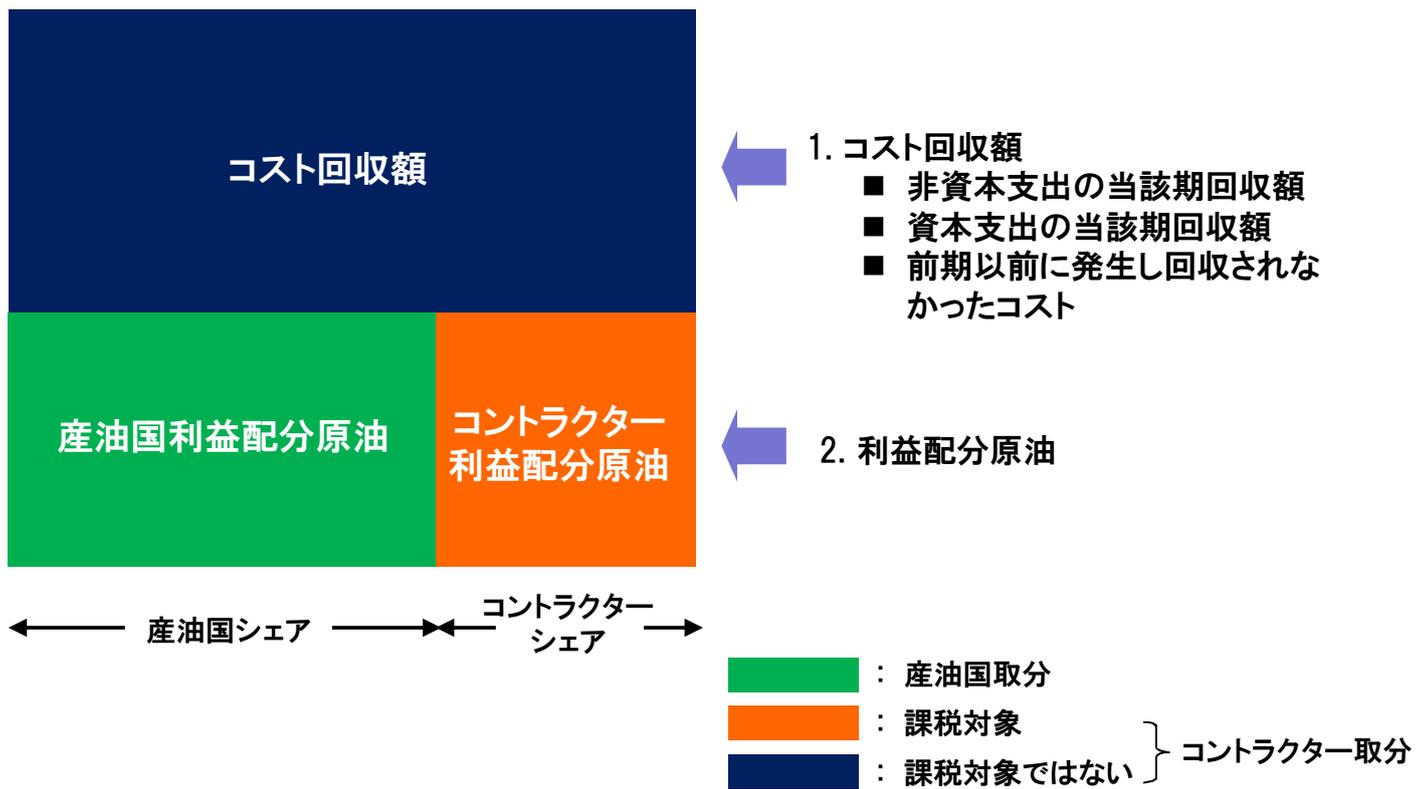
	2022年度	2017年度実績
原油価格・為替前提	60ドル・110円	57.85ドル・110.86円
売上高	1兆3,000億円程度	9,337億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,500億円程度	403億円
営業キャッシュフロー	4,500億円程度	2,785億円
株主資本利益率(ROE)	5%以上	1.4%

- ✓ 財務健全性を維持(自己資本比率50%以上を目安)
- ✓ 油価50ドル/バレル継続時も安定した事業運営が可能な体制を維持

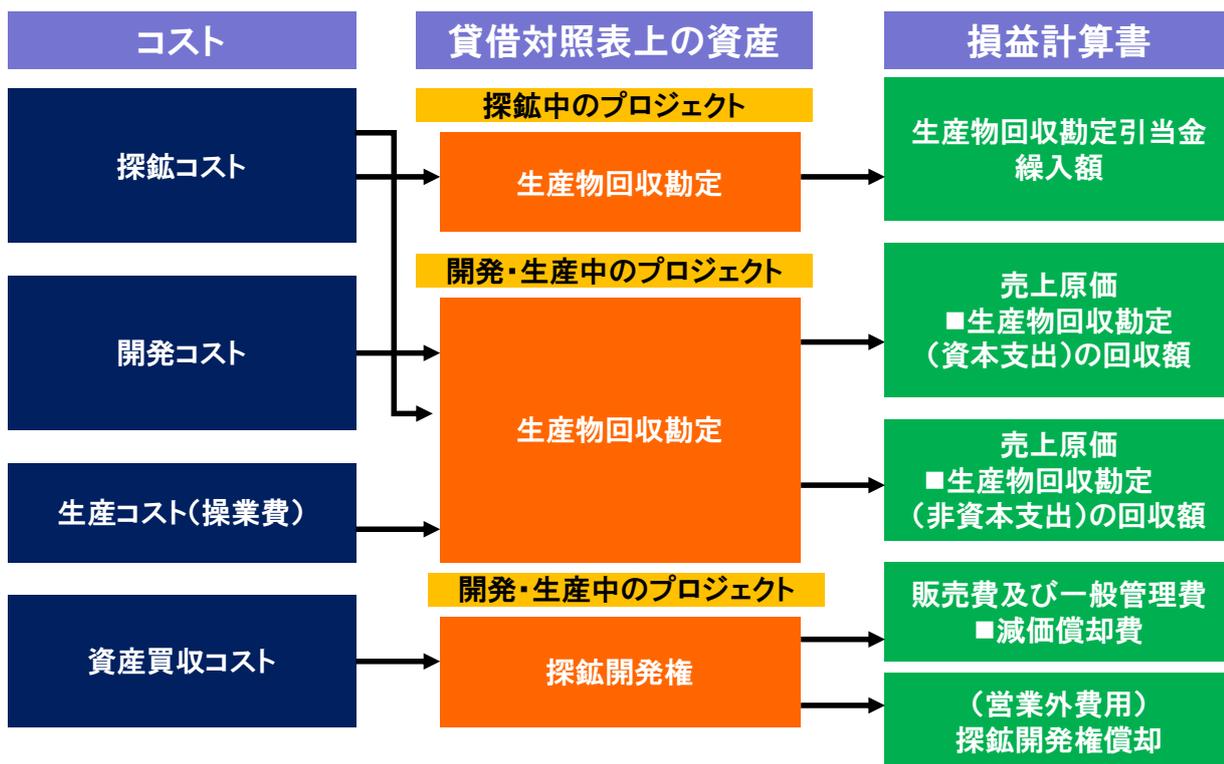
注：原油価格はブレント原油1バレル、為替前提は1米ドルあたりの数値。各指標は制度会計ベース。原油価格・為替レートのセンシティブ性は、2022年度の連結親会社株主に帰属する当期純利益に対し、油価1ドル/バレル上昇（下落）+80億円（△80億円）程度、為替1円/米ドル円安（円高）+20億円（△20億円）程度の試算。その他の留意事項は「中期経営計画 2018-2022」（URL: https://www.inpex.co.jp/company/pdf/business_plan.pdf）のP.5をご覧ください。

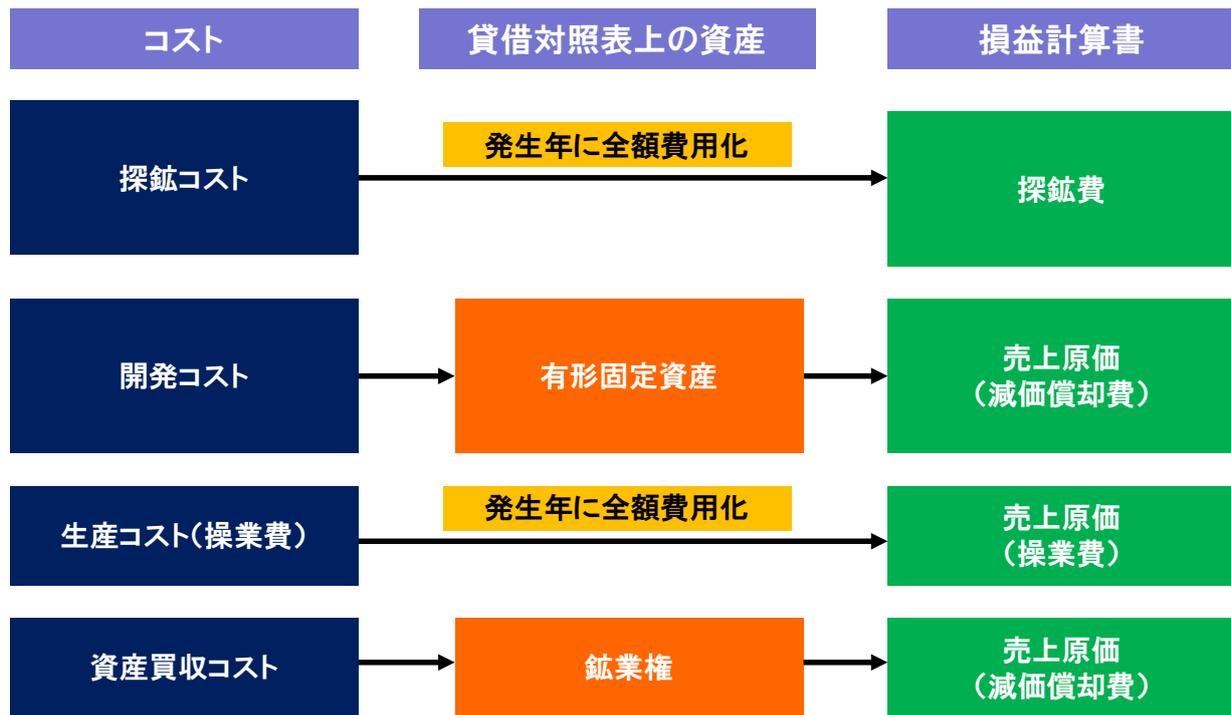
当社の一株当たり年間配当額、配当性向の推移





生産分与契約に係る会計処理

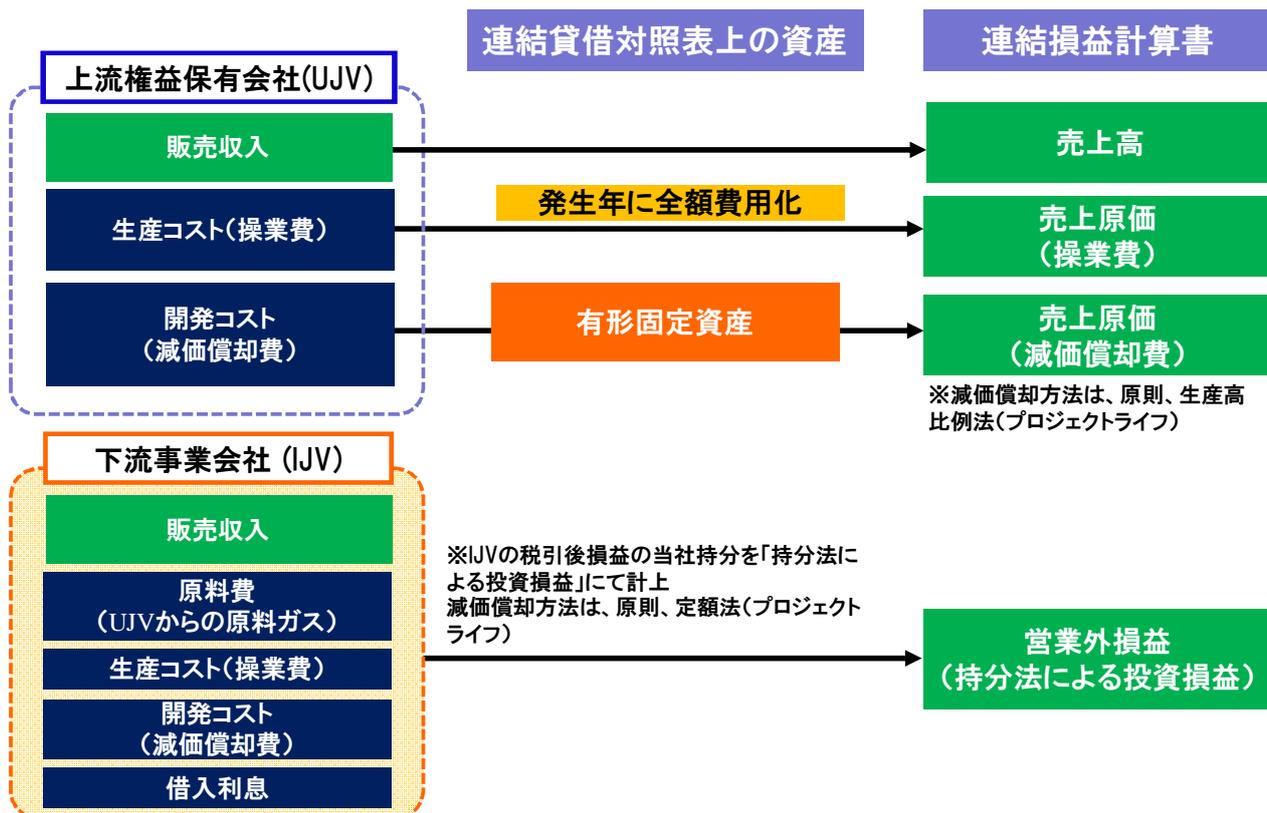




50

イクシスLNGプロジェクトの会計処理(概略図)

※ イクシスLNGプロジェクトの生産時。コストは主なもの。

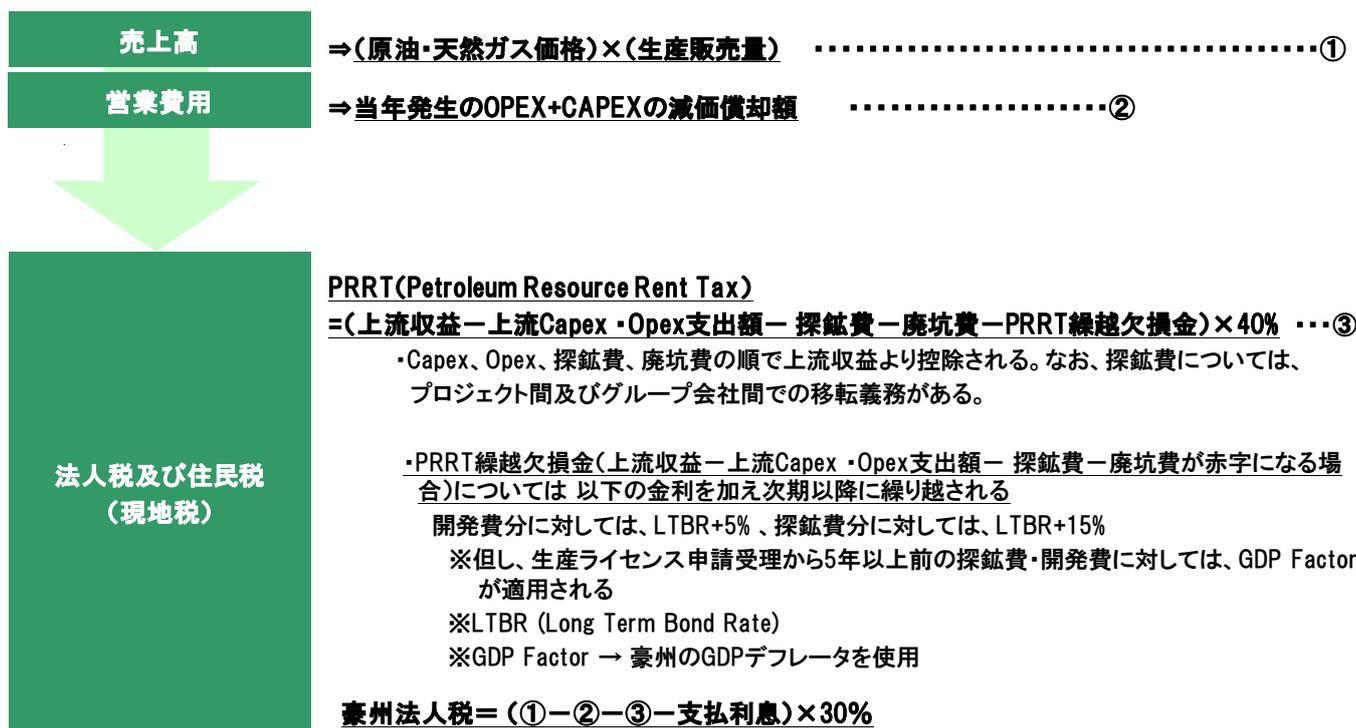


51

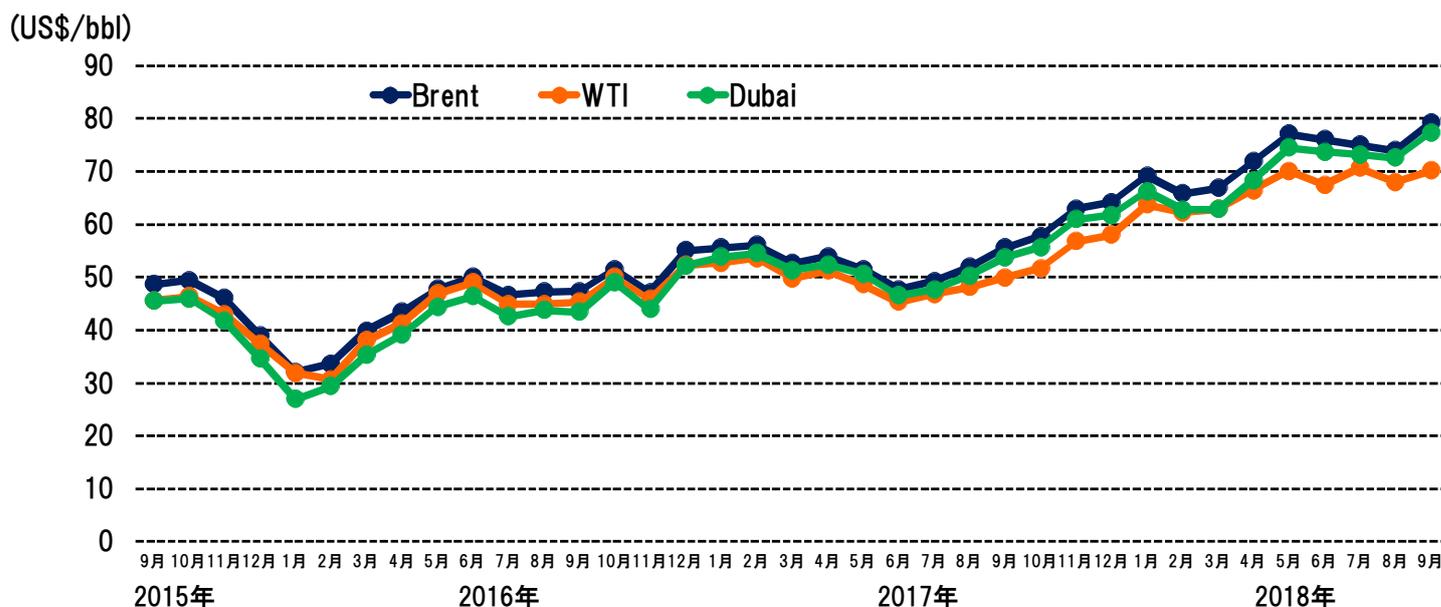
※下流会社(IJV)は持分法適用会社であり、同社のキャッシュフローは連結キャッシュフロー計算書上に表示されない。

豪州税制の概要

※ 本スライドの記載内容については、今後税制の改正等に伴い変更の可能性があります。



油価の推移



	2018年3月期 4-9月 平均	2018年3月期 通期 平均	2018年							2019年3月期 4-9月 平均
			4月	5月	6月	7月	8月	9月		
Brent	51.49	57.85	71.76	77.01	75.94	74.95	73.84	79.11	75.40	
WTI	48.25	53.69	66.33	69.98	67.32	70.58	67.85	70.09	68.69	
Dubai	50.13	55.86	68.27	74.41	73.59	73.12	72.49	77.25	73.19	